



## 大仁中学校の挑戦

新しい自分づくり（チェンジ）に向け、新年度を好機（チャンス）ととらえ自分に挑戦（チャレンジ）しようと投げかけて1ヶ月。保護者の皆さんの目には、お子さんの今の姿がどう映っているでしょうか。ちょっとした変化が見え隠れしていませんか。大きな変化とは限りません。変化はまさしく成長ですから、たとえ小さいと思える変化でも大切にしたいと思います。

本校の職員の日にも生徒の様々な変化が飛び込んできています。勿論、プラスの変化です。登校時刻やあいさつ、授業、部活動、委員会活動、清掃、他の生徒や職員とのかかわり……。とりわけ、学ぼうとする意欲と姿勢には感心します。3年生の旺盛な探求心を示す反応、2年生のしつとりと学びを進める落ち着き、1年生の教科と向き合う真剣なまなざし——。見ていて頼もしくなります。

さて、本校では、教育課程を通して、しっかりと自分の頭で考え、適切に判断・決定して行動できる人を育てようと、「自分で考え、判断・決定できる生徒」を重点目標の一つに掲げています。大人が一方向的に答えを教え込んだり、指示したりすることが多くなるほど、子どもは受け身となり自主性や自立心から遠ざかっていきます。変化の急速な社会では正解が不透明で、自分で最適解を見出し、自信をもって行動していく力が必要とされます。あふれる情報の中から正誤を判断し、取捨選択した情報を適切に活用して生活をよりよくしていけるようになることは、万人の願いです。その前提として「考える力」はこれまで以上に必須と押さえ、大仁中職員は、日常において「どうしたかったの?」、「どうしたいの?」、「どうしてほしいの?」などの投げかけを大切にしています。自ずと生徒が考えざるを得なくなる問いかけを通して、自分を客観視する、自己決定する、援助希求するなどの力をつけるためです。これらの力は、「こうしなさい」「こうすべきでしょ」などの押しつけの指導では身につけません。また、生徒主体の生徒会活動・学校行事・部活動などを実現するため、生徒が話し合っって計画を練る時間や機会の確保と支援に努めていきます。さらに、話し合い活動を日常化してコミュニケーションの力を伸ばし、授業における対話の質を高めて学びをいっそう深めるよう試みます。

家庭や地域におかれましても、本校が目指す生徒像をご理解いただき、ご支援・ご協力、そしてご意見等をいただけるよう切にお願いいたします。また、生徒とかかわる機会においては、上述したような対応に留意していただくことが、成長を後押しする一助になると信じています。



## ☆ ICT活用が始まっています

各教室には電子黒板、また、子供たちには一人一台タブレット端末が導入されました。これらを効果的に活用するために、教員も研修と実践を重ねているところです。授業の中でも少しずつ、活用が進んでいます。



2年生数学では、弧の長さの関係について説明をするために活用しました。図を描いたり、式や言葉を用いたりしながら試行錯誤中…。

## ☆ 下田自然体験教室に行ってきました（1年生）

『五感で感じよう 自然の恵み 築こう 私たちの友情』をスローガンに下田自然体験教室に行ってきました。砂の造形大会やサンドスキー、アジの開き体験等、さまざまな体験を通して自然を満喫し、よりよい仲間づくりができました。

### 【子供たちの感想より】

- \* 民宿でアジを開きました。少し形が悪くなってしまったが、5匹やっている間に徐々にうまくなったと思います。
- \* 一番の学びとなったのは、宿の人とのかかわりです。人への気遣いなどいろいろ学ぶことができました。
- \* 船乗り体験では、初めは怖かったけど、波に乗ったりするのがとても楽しかったです。



## ☆☆☆☆☆☆☆☆ 部活動 がんばっています ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- ・若獅子旗争奪田方地区中学校野球大会 優勝（野球部）
- ・県中学生サッカー選手権大会 伊豆地区予選 優勝（サッカー部）
- ・春季ソフトテニス選手権三島中央大会 中学生女子 優勝（山口・内田）
- ・春季少年少女ソフトテニス大会 田方地区大会  
女子…優勝（山口・内田）第4位（加藤・横井） 男子…第3位（早野・鴻野）